

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：警察費

項：警察管理費

目：警察本部費

事業名 警察における男女共同参画組織の実現事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警務部 警務課 電話番号：058-271-2424(内2611)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 580 千円 (前年度予算額： 583 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	583	0	0	0	0	0	0	0	583
要求額	580	0	0	0	0	0	0	0	580
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和 3 年 4 月「岐阜県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画」(以下「取組計画」という。)を策定し、女性職員の活躍推進等に取り組んでいるところ、男女共同参画組織の実現に向け、最新事情に精通した部外講師による研修会等を開催し、職員の意識改革及びキャリア形成を図ろうとするもの

(2) 事業内容

男女共同参画組織の実現に向け、

(ア) 取組計画を強く推進するため所属長を含む幹部職員等を対象として、男女共同参画を始めとする組織マネジメント能力向上に対する講義を開催する。

(ハラスメント対策含む。)

(イ) 女性幹部の育成は、組織に更なる多様化をもたらし、組織の質的強化に資する重要な施策であることから、幹部職員、幹部候補職員及び女性警察官に対して、ライフイベントを見据えた各世代が抱える課題理解と主体的なキャリア形成をさせるため、民間企業に業務委託して、講義、グループワーク等による研修会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

職員の活躍とキャリア形成を促進するとともに、働き方改革等を推進することは警察組織として必要なことであり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	380	全ての職員が輝く組織づくりに関する研修会
報償費	200	組織マネジメント等講演
合計	580	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「岐阜県男女共同参画計画（第4次）」
Ⅲ－2－1－2 働く場における男女共同参画
- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
1－(3)－① 性差に関わらず活躍できる社会の確立
- ・「岐阜県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画」

(2) 国・他県の状況

警察庁から都道府県警察に対して、女性警察官が一層活躍するための職場環境の整備等について指示が出されている。

(3) 後年度の財政負担

ワークライフバランス等の推進のための取組は、目標達成に向け概ね順調に推移しているが、法に基づく女性活躍事業でもあるため、継続した取組が必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

法に基づく女性活躍推進事業は、事業主である県が主体であり妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画に掲げる目標「令和8年4月1日までに女性警察官の割合12%程度など」の達成に向け、女性職員の活躍推進等に取り組んでいるところ、女性警察官のキャリア形成促進、幹部警察官を始めとする職員のマネジメント能力向上及び全職員の継続的な意識改革を図ることで、誰もが輝くことができる職場環境を醸成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

職員のキャリア形成及び意識改革を事業の目的としており、目標を示すことは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	ワークショップ研修会及びキャリア形成に関するプログラム研修会を開催し男性職員の意識改革や女性職員のキャリア形成の促進を図った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	ワークショップ研修会及びキャリア形成に関するプログラム研修会を開催し男性職員の意識改革や女性職員のキャリア形成の促進を図った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	ワークライフバランス推進担当者に対するマネジメント能力向上研修会やキャリア形成に関するプログラム研修会を開催し職員の意識改革やキャリア形成の促進を図った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	法整備や国等の計画推進に基づく不可欠な事業であるとともに、社会的な気運の高まりもあり、必要性は増加している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 1	女性警察官の巡査部長への昇任は目標値を達成しており、事業の効果が始めているが、警部補の昇任が目標値を達成できておらず継続的に事業を継続する必要がある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	対象職員や事業内容のについて精査し事業効果を高める。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 取組計画に定める目標「女性警察官の割合」、「幹部における女性警察官の割合」等を達成するとともに、男女共同参画組織を実現していくためには、継続的に意識改革・意識高揚を図っていくことが必要である。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 女性活躍に関する女性幹部の育成及び組織の全体の更なる意識改革を図っていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	